

好評により重版しました！(9刷)

Fax 03-6272-6538

Tel 03-6272-6536

国家とはなにか

四六判 上製カバー装 296頁 定価2,730円(本体価格 2,600円)

いま、「国家とはなにか」と改めて問われても、何を問われているのか分からないほど、私たちは国家というものを身近なものと感じ切っています。本書は、この身近とと思っている国家は、基本的には「暴力に関わる一つの運動態である」という、あまり身近と思いたくない概念規定から論を始めています。

近年、グローバル化と同時にナショナリズムやレイシズムへの関心も高まってきて、その意味では国家に関する議論は広く行われていますが、本書は先の基本的概念から初めて、昨今の「国民国家論」に至る、現代思想の主要なテーマ系にも十分配慮した、著者による書き下ろしです。

【著者】 萱野 稔人 (かやの としひと)

1970年生。2003年パリ第十大学大学院哲学科博士課程修了(パリ大学哲学博士)。
現在、津田塾大学国際関係学科准教授。

主著書：『カネと暴力の系譜学』(河出書房新社)、『権力の読みかた』(青土社)、『ナショナリズムは悪なのか』(NHK出版新書)ほか。

希望陳列コーナー：現代思想・政治経済

以文社 ISBN978-4-7531-0242-6 C0010 定価2,730円(本体価格 2,600円)		
番線	冊数	
		<p>萱野 稔人 著</p> <p>国家とはなにか</p>

20世紀政治哲学の巨人、カール・シュミットの最初期から晩年までの思想を完全網羅し、その挫折と可能性を導き出した渾身の力作！グローバル化の行き詰まりと民主主義の危機の時代にシュミットはいかにして甦るのか？

以文社 ISBN978-4-7531-0271-6 C0031 定価4,830円(本体価格 4,600円)		
番線	冊数	
		<p>大竹 弘二 著</p> <p>正戦と内戦</p> <p>カール・シュミットの国際秩序思想</p>

※両書籍とも、注文書籍となります。(FAXまたは電話で返信お願い致します。)